

那須烏山市公共サイン計画

平成27年12月

那須烏山市

目 次

1	公共サイン計画策定にあたって	1
	1. 計画策定の背景と目的等	1
	2. 計画の適用範囲	2
2	現状及び課題の整理	4
	1. 公共サインの設置状況.....	4
	2. 課題の整理.....	8
3	公共サイン整備計画	10
	1. 整備の基本方針	10
	2. 公共サインシステムについて.....	11
	3. 具体的事項の設定.....	13
	4. 公共サインの整備及び維持・管理の効率化.....	23
	5. 標準デザインの提案	26
	《参考資料》	33
	1. 標準案内用図記号	33
	2. カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット.....	42
	3. 標準デザイン案検討資料	44

1 公共サイン計画策定にあたって

1. 計画策定の背景と目的等

公共サインに関する国の動きとしては、平成12年11月に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（交通バリアフリー法）」が施行しましたが、一体的・総合的なバリアフリー施策を推進するため、平成18年12月にハートビル法と交通バリアフリー法を統合・拡充した「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」が施行されました。

これを受けて、平成19年7月に「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン（バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編）」等が策定されました。

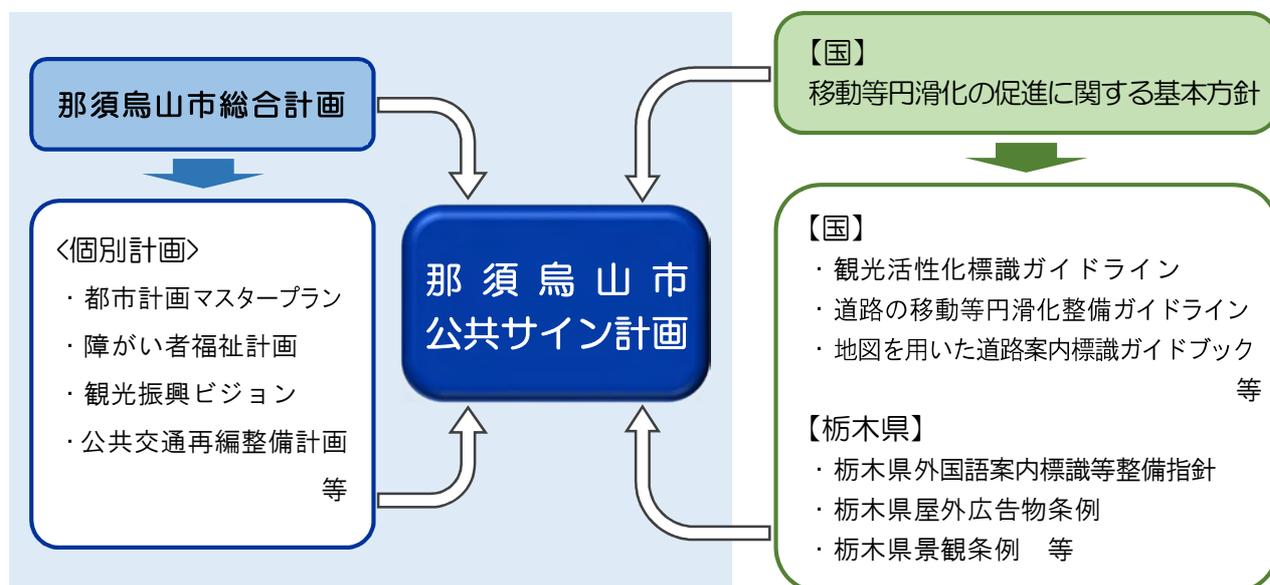
那須烏山市は、平成17年10月には旧南那須町と旧烏山町が合併し、八溝山系の緑深い森林、那珂川・荒川の清流、美しい田園や里山などの豊かな自然環境、東山道跡、山あげ祭、烏山和紙などの伝統・歴史・文化を持つ都市です。

合併前に設置した公共サインは、旧町が独自に設置・管理していたため、表示情報やデザインが不統一なサインが混在している状況です。

一方、2016年11月のユネスコに烏山の山あげ行事登録（予定）や、2020年（平成32年）の東京オリンピック、2022年（平成34年）の栃木県での国民体育大会開催に伴う外国人も含めた観光客の増加を見据えて、だれにでもわかりやすい公共サイン整備の重要性が高まっています。

このような状況を踏まえて、豊かな自然景観や歴史・文化的景観に配慮した、統一的な公共サインの整備を推進するため、公共サインの整備に係る基本的な考え方を定めます。

【計画の位置づけ】



2. 計画の適用範囲

(1) 公共サインの定義

公共サインとは、人々にまちの地理、方向や施設の位置等の情報を提供する媒体としての標識、地図、案内誘導板等の総称であり、公的機関が設置するものとされています。

【公共サインの種類】

<p>案内サイン 地図を用いて、一定範囲における施設の位置を表示するためのサイン</p>		
<p>誘導サイン 名称、矢印、ピクトグラム、距離などを用いて、目標とする場所へ誘導するためのサイン</p>		
<p>記名サイン 名称やピクトグラムなどを用いて、施設の名称を表示するためのサイン</p>		
<p>説明サイン 施設や地域資源の内容などを説明するためのサイン</p>		
<p>規制サイン 特定の場所での規制や警戒等の注意を喚起するためのサイン</p>		

(2) サインの利用対象者

那須烏山市への来訪者や地域住民を対象とします。特に障がい者、高齢者及び外国人等に配慮します。

(3) サインの適用範囲

公共サインの新設、改修及び増設等を行う場合に適用します。

適用とするもの

那須烏山市が道路及び道路に面する場所に設置する以下のサインに適用します。

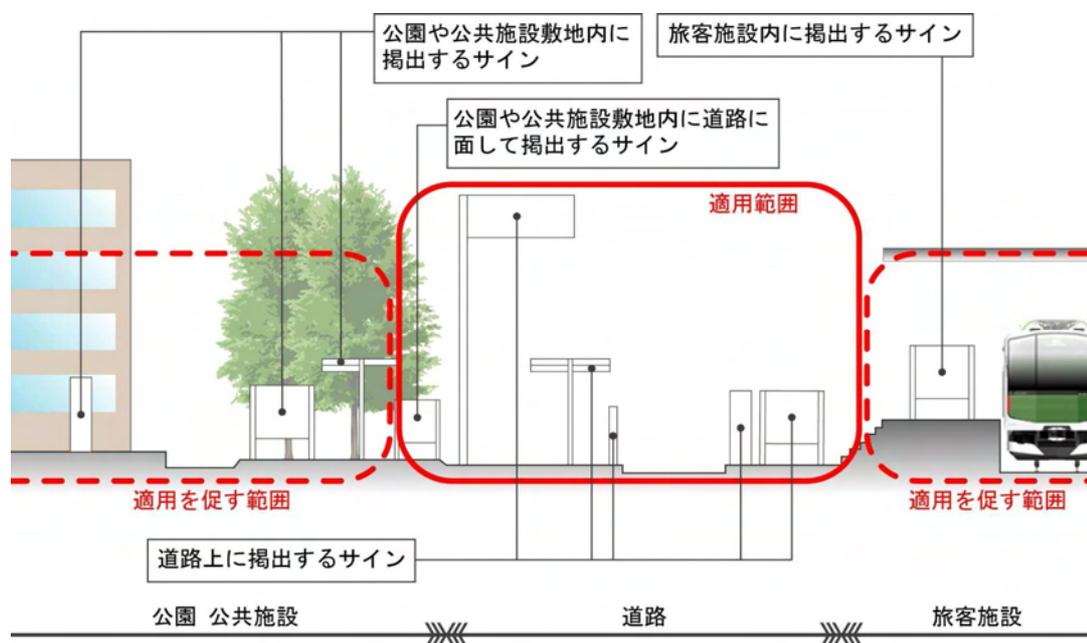
- ・歩行者向けの案内、誘導及び記名サイン
- ・文化財及び公共施設に地域の歴史や特徴等を紹介する説明サイン
- ・沿道に掲出する車両誘導及び記名サイン

適用を促すもの

- ・交通事業者が旅客施設内に設置する案内及び誘導サイン
- ・公園管理者が公園内に設置するサイン
- ・公共施設の管理者が敷地内に設置するサイン
- ・上記以外で公共団体が設置するサイン

適用を除外するもの

- ・道路管理者が設置する道路標識設置基準に規定された標識
- ・避難場所、住居表示などの独自のシステムで設置するサイン
- ・他の法令等により設置基準が定められているサイン



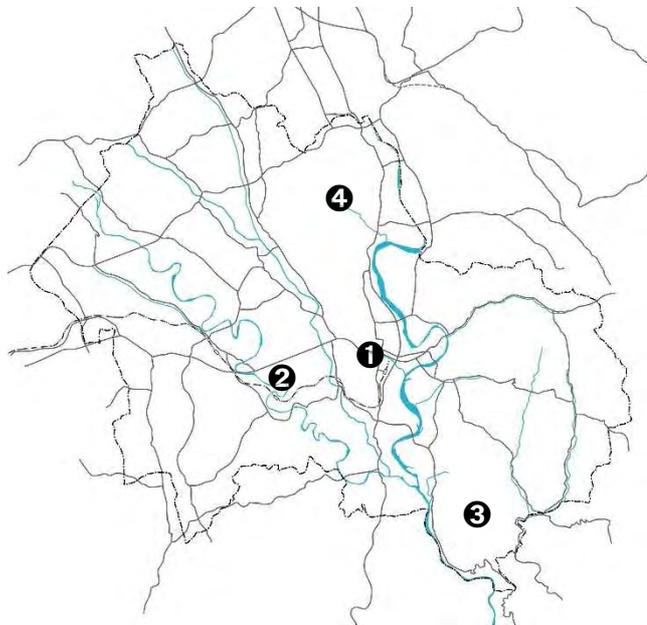
2 現状及び課題の整理

1. 公共サインの設置状況

(1) 案内サイン

主な案内サインとしては、那須烏山市の主要な交通結節点であるJR烏山駅及び大金駅前には市域全域を示す案内板が設置されています。板面の基本デザインは同様であり、写真、イラストやピクトグラムを活用しています。

その他の案内板として、「那珂川国民休養地」のほか、「塩那台地総合開発整備事業」の案内板が設置されており、イラストや写真を多用した案内をしています。



① 那須烏山市案内板（JR烏山駅前）



② 那須烏山市案内板（JR大金駅前）



③ 那珂川国民休養地（小木須）

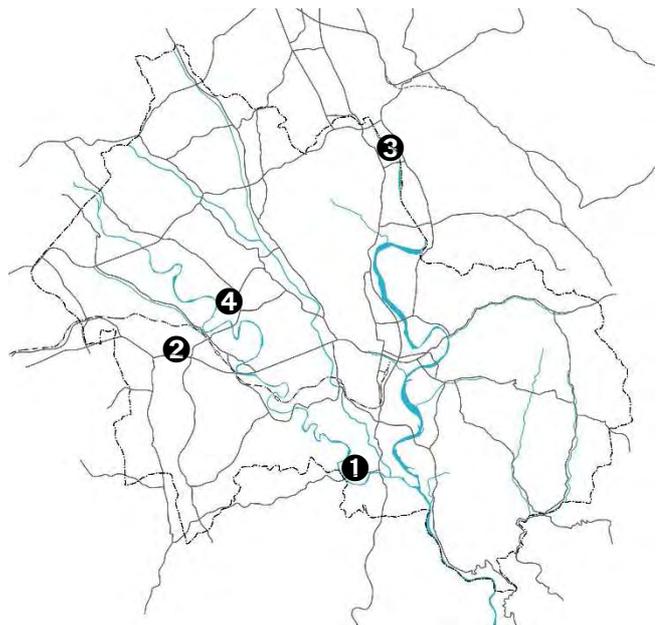


④ 塩那台地総合開発整備事業（中山）

(2) 誘導サイン

主な誘導サインとしては、那須烏山市の主要な道路である国道 294 号や主要地方道宇都宮那須烏山線等から市内に入った場所に、市内の主要な観光資源への誘導サインが設置されています。板面の基本デザインは、合併前の地域により異なります。

個別施設の誘導サインも上記と同様に、合併前の地域により異なります。



① 山あげ会館、龍門の滝等（向田）



② 田野倉大金商店街等（田野倉）



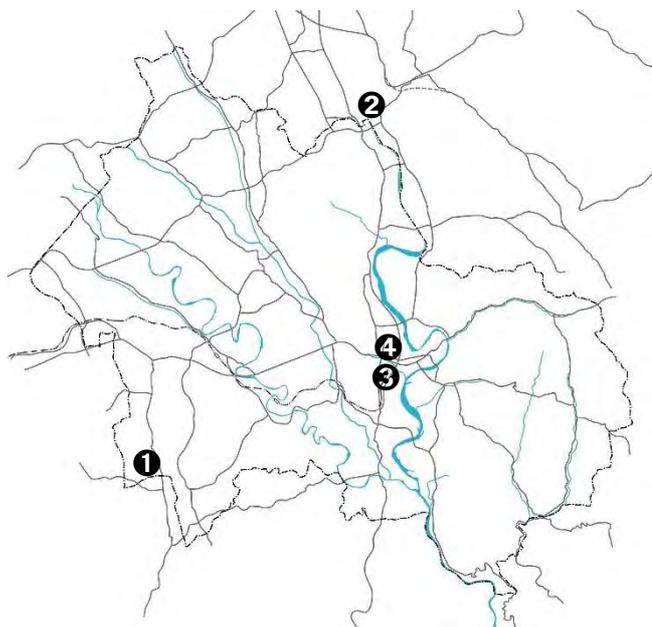
③ 大桶運動公園（大桶）



④ 那須烏山市緑地運動公園（南大和久）

(3) 記名サイン

主な記名サインとしては、那須烏山市の境界部に設置されている市名を表示した記名サインのほか、市役所等の主要な施設の入り口や通り名を示す記名サインが設置されています。市名表示の記名サインは、市章や外国語表記の有無等、表示内容は設置場所により異なります。



① 那須烏山市（八ヶ代）



② 那須烏山市（大桶）



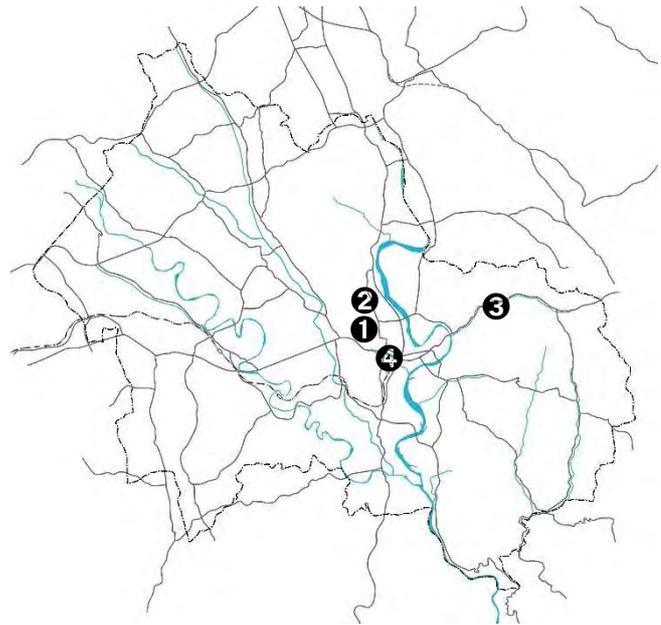
③ 山あげ会館（金井）



④ 三万石通り（金井）

(4) その他のサイン

その他のサインとしては、施設や地域資源の内容などを説明するためのサイン、特定の場所での規制や警戒等の注意を喚起するためのサインが設置されています。これらのサインの一部は、老朽化や板面の汚れ等により文字の判読が困難なサインもあります。



① 烏山防空監視哨（中央）



② 烏山城跡（中央）



③ せせらぎの里公園（大沢）



④ 清水川せせらぎ公園（金井）

2. 課題の整理

(1) 公共サインの形状、色彩及び設置個所等について

- ・平成17年10月1日の合併に伴い、以前に設置されていた公共サインの多くが板面の一部修正により対応していたため、設置者、設置時期によりデザインや素材等の統一感が不足しています。



【旧町時に設置された誘導サイン（左：烏山地区、右：南那須地区）】

- ・視野に入りにくい場所への設置や他のものにより隠されているなど、設置個所について配慮が不足している部分があります。



【樹木により隠され認識しにくい誘導サイン（左：車両系、右：歩行者系）】

(2) 公共サインの表示方法及び情報量等について

- ・公共サイン板面の文字サイズ・字体や配色による情報の可読性、板面の汚れや破損による表示の視認性等に対する配慮、多言語表記による外国人への配慮等が不足している部分があります。



【多言語表記が不十分な案内サイン（左：烏山駅前、右：大金駅前）】

(3) 公共サインの不足や他情報媒体との連携不足について

- ・公共サインが必要な場所に設置されていないため、来訪者にとってわかり難い場所があります。特に烏山市街地及び周辺において、本市の主要な観光資源である山あげ会館や和紙会館へは関東ふれあいの道（環境省・栃木県）の歩行者系の誘導案内が設置されていますが、石造り倉庫群や境橋等の近代化遺産への歩行者系の誘導案内が不足しています。
- ・公共サインのほかに、観光パンフレットや市内の観光資源を紹介するHP等が作成されていますが、連携が上手く図られていない状況です。



【歩行者系誘導サイン（関東ふれあいの道）】



【まちなか観光パンフレット】

(4) 公共サインの適切な維持・管理等について

- ・公共サインの維持・管理方法が確立されていないため、老朽化や破損等により十分に機能していないサインとともに、旧町時の名称やマークの更新が実施されていないサインが一部にあります。



【板面の色あせ等により判読が困難な説明サイン】



【旧町時のC I等が表示された誘導サイン】



【日本語と英語表記が異なる誘導サイン】

3 公共サイン整備計画

1. 整備の基本方針

公共サインの役割や市内の整備状況の課題を踏まえ、整備の基本方針を次のように設定します。

基本方針1

誰もが利用しやすいサイン

それぞれのサインの役割に応じて、障がい者、高齢者、子どもや外国人等も含めた、すべての利用者が見やすく、わかりやすいサイン整備を目指します。

基本方針2

連続性や統一感のある那須烏山市にふさわしいサイン

表示方法や内容など一定の条件を整理し、統一感のあるサイン整備により、目的地までの効率的な誘導案内を目指します。また、自然や歴史・文化等の地域特性を活かした「那須烏山市らしさ」を感じられるデザインを検討します。

基本方針3

他情報媒体との効果的に連携したサイン

まちなか観光マップや観光協会HP等の他情報媒体と効果的に連携したサイン整備により、本市での観光行動の活性化を図ります。

基本方針4

適切に維持管理されたサイン

維持管理の仕組みを確立することにより、正確な情報の更新や見やすさ・わかりやすさ等の適切な維持管理を目指します。

2. 公共サインシステムについて

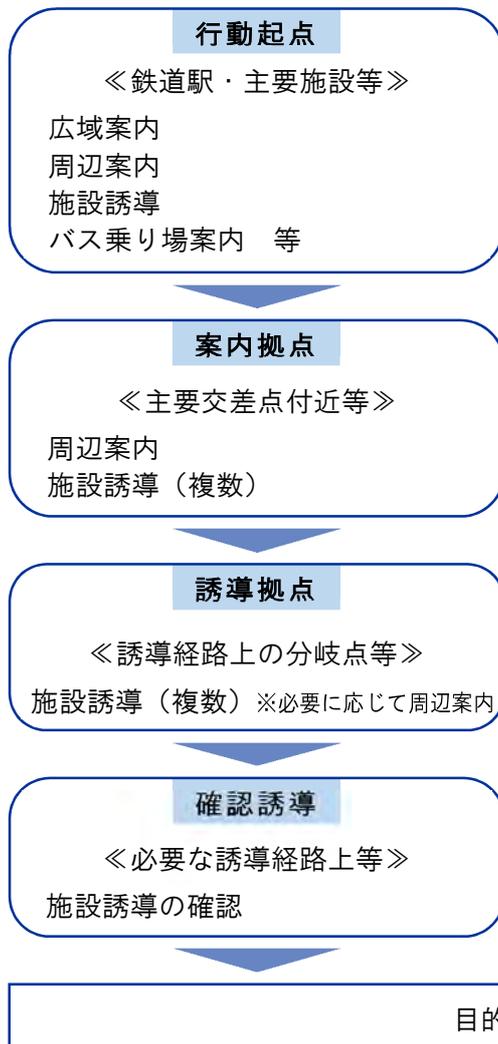
(1) 公共サインシステムの考え方

- 公共施設や主要観光資源等を案内、誘導するサインは、行動起点から目的地までの動線上における道路や道路に面する場所へ、相互に連携し、効率的に掲出することで機能が向上します。
- それぞれのサインの連携により、利用者が目的地までスムーズに安心して移動するための情報を提供する仕組みを「サインシステム」とします。

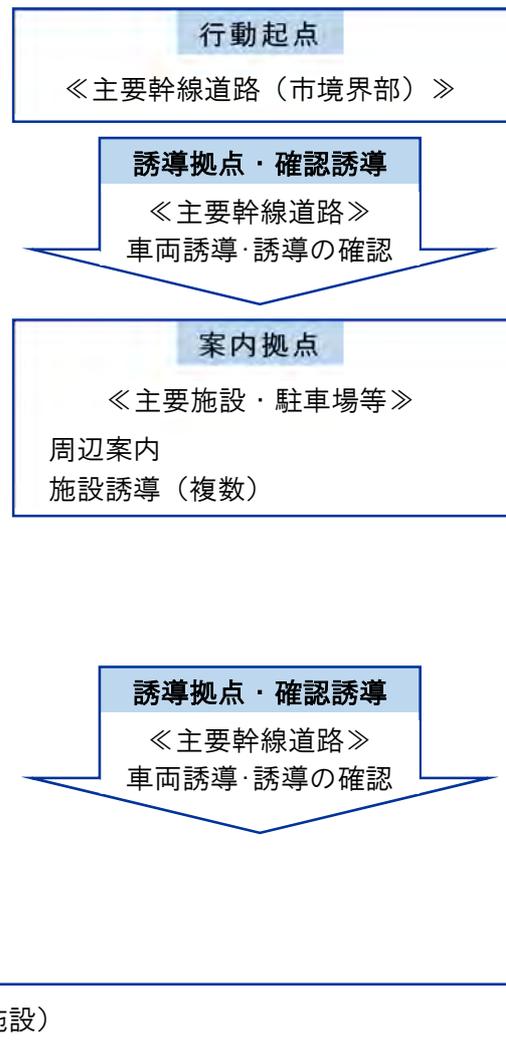
留意・検討項目

- ・ 歩行者の案内・誘導の流れは、行動起点から目的地までの段階的な誘導にあわせ、必要なサインを適切に配置します。
- ・ 車両の案内・誘導の流れは、道路標識の設置基準に準じて車両系の公共サインを掲出します。
 なお、主要な駐車場等においては、必要に応じて歩行者の案内・誘導との連携を図ります。

【 歩行者系案内・誘導の流れ 】



【 車両系案内・誘導の流れ 】



歩行者系との連携

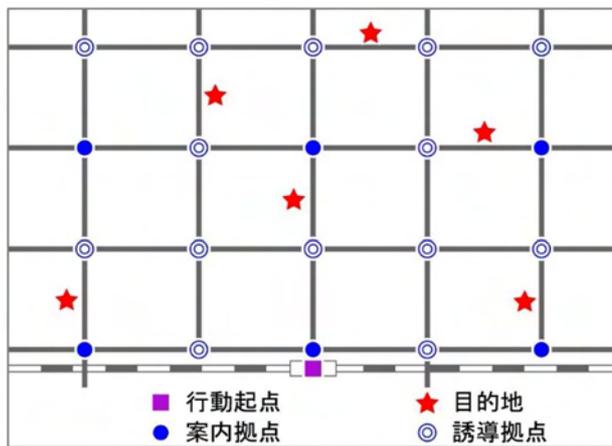
(2) 公共サイン配置の考え方

○ 公共サインは、地域の道路や施設等の都市基盤の整備状況に応じて体系的に配置し、過剰な整備を避けます。

留意・検討項目

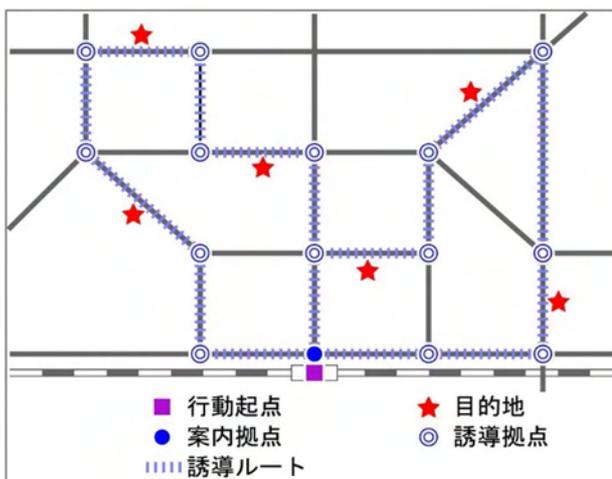
● 面的配置パターン

行動起点から目的地までが整然と整備された地区では、行動起点から目的地までのアクセスに一定の自由度を持たせるため、均等な密度で案内・誘導情報を提供します。



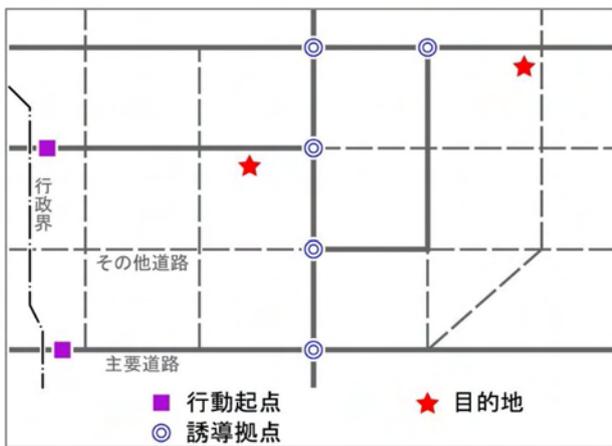
● 線的配置パターン

行動起点から目的地までの誘導ルートを設定し、ルートに沿った指示標識を配置し、分岐点では案内・誘導情報を提供します。



● 車両系誘導サイン配置パターン

主要道路の市境界部を行動起点とみなし、主要な交差点部において広域的な誘導情報を提供します。



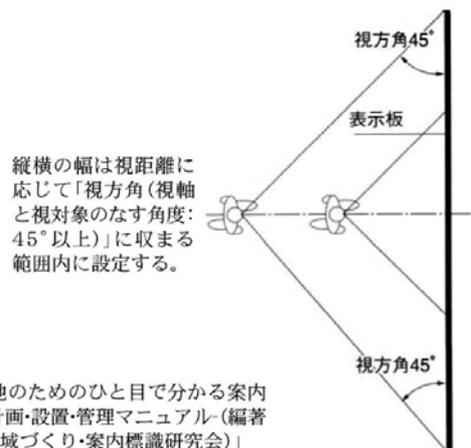
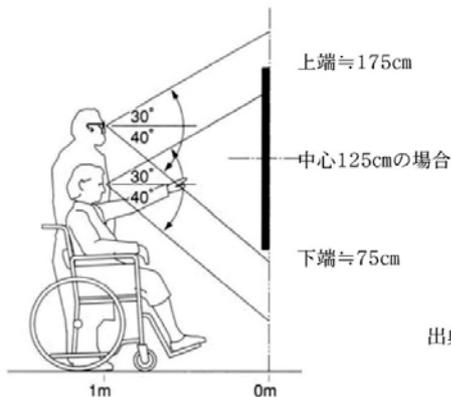
3. 具体的事項の設定

(1) 標識の高さ・サイズ

- 「案内サイン」・「誘導サイン」・「記名・説明サイン」ともに無理のない視方角の範囲内で設置し、外国人をはじめ歩行者・車いす使用者など全ての人に対して視認性と可読性を確保します。
- 近距離から見る「案内サイン」の場合、車いす使用者や子どもが見やすい高さとして、地図の中心の高さを地上から 125 cm 程度とします。
- 中距離から見る必要がある「誘導サイン」の場合、サイン本体表示面の下端の高さを 250 cm 以上とします。
- 「案内サイン」や「誘導サイン」等の高さやサイズなどは事前に関係機関等と調整し、各種法規制に準拠した上で設置します。

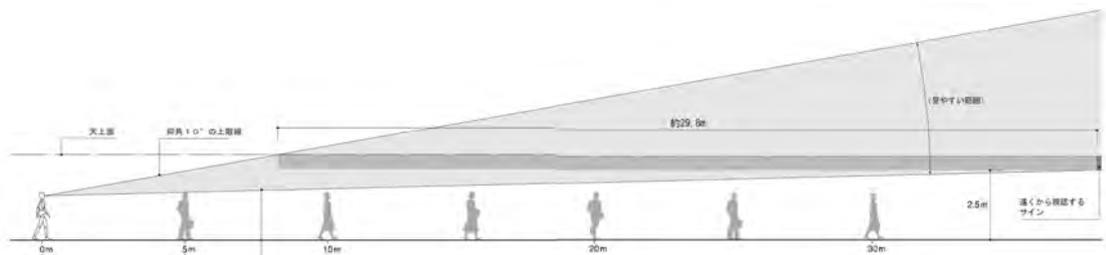
説明事項

【案内サインの掲出の高さ・幅の考え方】

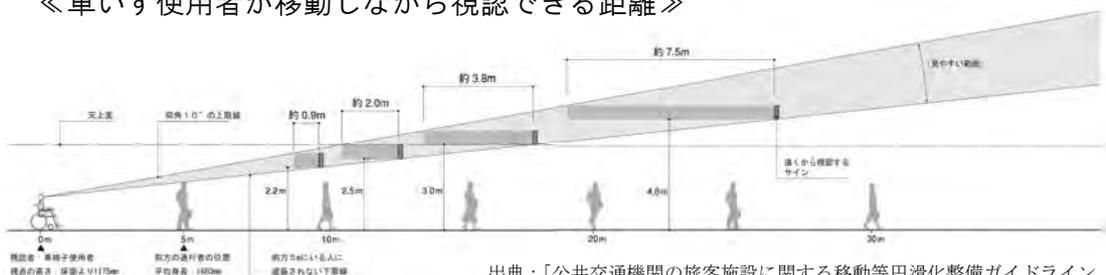


【歩行者系誘導サインの高さの考え方】

《通常の歩行者が移動しながら視認できる距離》



《車いす使用者が移動しながら視認できる距離》



出典:「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン(バリアフリー整備ガイドライン(旅客施設編))」

留意・検討項目

- 交通エコロジー・モビリティ財団発行の「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」等を参考にしながら、近づいて見る場合、離れて見る場合、それぞれから見やすい高さ、見やすい向きとします。
- サインの表示面の向きは、利用者の円滑な移動を妨げないよう配慮しつつ、動線と対面する向きに掲示します。ただし、設置場所上の制約などから、動線と平行な向きとなる場合には、延長方向から視認できる箇所に「インフォメーションマーク（案内サインがあることを示す目印）」を掲出するなどの対応が必要となります。
- 案内サイン（総合案内板）における主地図作成上の留意点
 - ① 掲載する主地図の縮尺は、経路表示の際の線の太さなどから 1/1,000 程度とします。（1/1,000 の図面を 1 km 四方表示する場合、板の大きさは 1 m 四方となります。）
 - ② 観光地の規模や状況などにより、主地図の大きさ、縮尺などを適宜工夫します。
 - ③ 広域地図(全域)、主地図、凡例の視認性を最優先としながら、地域の特性等に応じて写真や図、観光資源・観光施設などの案内を付加します。

(2) 材質・構造

- 歩行者や利用者の安全性の確保を第一義に、リスクマネジメントの観点から倒壊などの危険性が低い材質・構造体とします。
- メンテナンス、更新、撤去が可能かつ容易な材質・構造体とします。

留意・検討項目

- ・ 柱や構造体は、風雨などに対する耐久性や堅固性を備えた安全性の高い材質とします。
- ・ 木材を使用する場合には、基本的に「県産材」を利用します。なお、木材を使用する際には、腐食や衝突などに起因する倒壊の危険性などに十分配慮します。
- ・ 木材以外の材質を選択する場合には、リサイクル・廃棄可能な材質を使用するなど環境負荷の軽減に配慮します。
- ・ 同一の材質であっても、どういった仕上げを選択するかによってメンテナンス性に大きな違いが出ることから、慎重に吟味する必要があります。(例えばステンレスの場合：ヘアライン仕上げでは酸性雨や汚れ、落書き等への対応が必要となります。)
- ・ 情報板は太陽や照明の反射を抑える視認性に優れた見やすい材質とするとともに、常に新しい情報を提供する観点から、掲示内容が適宜差し替え可能な様式・構造とすることが望まれます。

【 柱・構造体に用いられる主な材質の特徴一覧 】

材 質	特 徴
木 材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産の間伐材を有効活用できる ・ オイルを浸透させ耐久性と寸法安定性を向上することが可能
再 生 木 材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木粉(木の繊維質)とプラスチックを有機強化材で結合したリサイクル素材 ・ 見た目は天然木に近い風合いでありながら天然木を超える優れた耐朽性を発揮する
ス テ ン レ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錆びない合金鋼であるため耐食性に優れる ・ 表面研磨の違い(鏡面・ヘアライン等)で様々な質感の表現が可能であり装飾性に優れる
アルミニウム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽量でありながら耐食性に優れ、やわらかく加工しやすいため複雑な形状にも対応可能 ・ クリア塗装や合成樹脂焼付塗装等の表面仕上げが可能
擬 石	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市ゴミ焼却灰や下水汚泥を高温焼成し、コンクリート材料として再資源化した材質

【 主な印刷方法の特徴一覧 】

印刷方法	特 徴	耐用年数	価格帯
高精細印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な印刷方法(CMYKの4色分解)で高精細に表現可能 ・ アルミ板やアルミポリエチ複合板を基板として印刷 ・ 退色を防ぐためUVカットフィルムをコーティングして仕上げる 	約7年	低・ 中 ・高
インクジェット印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4~6色のインクを様々な専用シートに直接印刷(精細) ・ 印刷面の保護・退色防止のため屋外用高耐候性インクを使用 ・ 表面に特殊UVカットフィルムコートを塗布 	約2~3年	低 ・中・高
シルクスクリーン印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベタ色の表現など発色が良く独特の美しさで印刷可能(精細) ・ 使用する色ごとに版が必要となり製作コストに影響する ・ 退色を防ぐためUVカットフィルムをコーティングして仕上げる 	約5年	低・ 中 ・高

(3) 地図・表記

- 案内サインの主地図は、国土地理院の地図の基準をもとに詳細な表示を避けながらも正確かつ見やすい地図とします。
- 現在地の表記は地図面の中で視認性高い色彩として「赤色」を使用します。また、利用者の見ている方向がわかるよう、視線の方向を三角形で表記します。

【現在地マークの使用例】



- 使用するピクトグラムは、「標識令」及び「標準案内用図記号（一般案内用図記号検討委員会）」に準拠します。

留意・検討項目

- ・ 地図には次の施設等を適宜検討のうえ掲載します。
 - 基本-①：道路、歩道、立体横断施設、公園等
歩行経路の目標となる現在地、信号機、交差点名、地番地名情報等
 - 基本-②：交通施設（駅、鉄軌道路線、バス路線・バス停等）
 - 基本-③：案内所、公共(的)施設、文化施設、公衆便所、名所・旧跡、大規模宿泊施設・商業施設・店舗等
 - 基本-④：エレベーター・エスカレーター等の移動円滑化施設、車椅子が円滑に通行できる経路等
- ・ できるだけピクトグラム表示に努めるなど、外国人・日本人を問わず全ての人にとってわかりやすい案内・誘導サインとします。
- ・ 「標準案内用図記号」のピクトグラムのうち、「推奨度C」のピクトグラムは原則として使用しないこととします。
- ・ 「観光マップ」等との連携を前提に、番号表示を用いた案内・誘導を行います。駅・バス停・主な交差点、公共(的)施設、主な経路などに設置される「公共サイン」には番号表示(①、②、③...等)を付し、別途作成される「観光マップ」、「パンフレット」等との連携を図ります。
- ・ 「公共サイン」を補完する「観光マップ」、「パンフレット」等は、観光地の特性に応じて様々な言語で作成・提供するとともに、必ず日本語を併記することとし、さらに適宜更新を図ります。

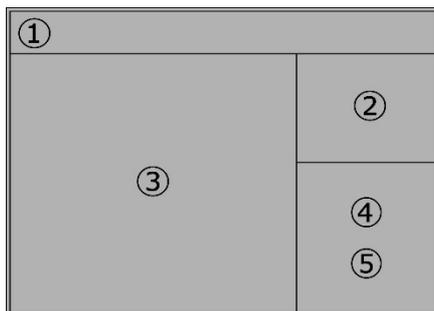
(4) 表示項目

- 「総合案内サイン」の場合、以下に示す基本構成項目を表記します。
 - ①案内サインの名称（地点名、地点番号などを示す。）
 - ②広域地図（隣接観光地の方向・距離感、移動手段等を示す。）
 - ③主地図（1/1,000以上の縮尺の地図を用いる。）
 - ④凡例（主地図で表記される施設、ピクトグラム、マーク等の意味を示す。）
 - ⑤現在地住所
- 「地域案内サイン」には上記①、③、④、⑤を表記します。
- 「誘導サイン」には施設名称、方向を示す矢印、概ねの距離、他必要に応じてピクトグラム等を表記します。
- 「記名・説明サイン」には施設名称、解説を表記する他、必要に応じて写真や図を掲載します。

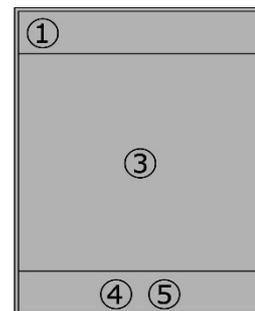
説明事項

【サインの基本構成項目・レイアウト例】

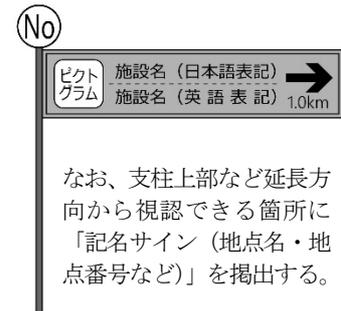
《総合案内サイン》



《地域案内サイン》



《誘導サイン》



※上記各図解は、各サインに掲載すべき項目を表すものであり、サイン自体の形状や形態を表すものではありません。

留意・検討項目

- ・「公共サイン」の形状は、市内全てを画一化・統一化するものではないが、レイアウトの中で「基本構成項目」については必ず表示することで統一感を維持します。
- ・設置位置などの関係から案内サインの大きさが限られる場合には、視認性・可読性を考慮しながら上記①～⑤の分量やバランスなどで調整します。また、市街地や観光地の規模や状況などにより、主地図の大きさ、縮尺などを適宜工夫します。
- ・①～⑤の可読性などに十分配慮しながら、必要に応じてその他の情報(写真・図など)を掲載します。
- ・地域案内サイン等に誘導サインやその他の情報を併設する場合には、車椅子などからの見上げ角度や案内サイン前に並ぶ観光客等に視点が遮られないように配慮します。
- ・案内サインの「基本構成項目」以外に、民間広告、市の広報、QRコード(観光情報)等の案内誘導以外の情報を表示する。

(5) 文字の書体・大きさ

- 書体は視認性や可読性に優れた、「ゴシック系書体」を使用し、日本語書体は「角ゴシック」、英語・数字書体は「サンセリフ系書体」を基本とします。
- 文字の大きさは高齢者や障がい者などに配慮するとともに、視距離に応じた大きさとしします。

説明事項

【文字の書体例】

日本語書体：那須烏山市役所

英語書体：Nasukarasuyama City Hall

数字書体：0123456789

【視距離に応じた文字高さの目安】

視距離	文字高さ
30mの場合	120mm以上
20mの場合	80mm以上
10mの場合	40mm以上
4～5mの場合	20mm以上
1～2mの場合	9mm以上

【設計速度別文字高さの目安】

設計速度	文字高さ
70km/h以上	30cm（基準値）
40、50、60km/h	20cm（基準値）
30km/h	10cm（基準値）

出典：左表「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」

右表「道路標準設置基準・同解説」

留意・検討項目

- ・観光地の特性等を考慮した場合に「明朝系書体」の方が望ましいと判断した場合には「ゴシック系書体」にこだわらなくてもよいものとします。（例えば、観光地の持つ雰囲気の中では「ゴシック系書体」よりも「明朝系書体」の方が趣きある場合や、既設の観光案内標識が全て「明朝系書体」である場合など。）
- ・「明朝系書体」を用いる場合には、横線が細くなるため可読性を確保する必要があります。
- ・使用する文字の大きさ（文字高さ）の最低限度は上表より9mm以上が望まれます。ただし、やむを得ず上表によりがたい場合は、視距離に応じて判読可能な文字の大きさが異なることから、視距離と文字の大きさ（文字高さ）の関係を十分考慮する必要があります。
- ・同一の市街地や観光地内においては、案内図及び解説文を除き書体の統一に努めます。

(6) 言語表記

- 「日本語」及び「英語」による表記を基本とし、「日本語」表記を上、「英語」表記を下に掲示します。
- 文字の高さの割合は、日本語の文字高さ1に対して英語の文字高さを1以上とします。
- 「英語」表記の際に英訳できない固有名詞には、「ヘボン式ローマ字」つづりを使用します。「ヘボン式ローマ字」を使用する際の留意点や詳細については、栃木県発行の「外国人も分かりやすい表記の手引き」に準拠します。

説明事項

【「日本語」／「英語」の表記例】

山あげ会館

日本語文字高さ：1

Yamaage Hall

英語文字高さ：1

【ローマ字及び外国語の表記例】

山あげ祭：Yamaage Matsuri Festival

那珂川：Naka Riv.

龍門の滝：Ryumon no Taki Falls

留意・検討項目

《日本語表記》

- ・漢字は常用漢字を使用し、国文法、現代仮名づかいによる表記を原則とします。ただし、地名などの固有名詞は例外とします。
- ・表示内容を簡潔なものとするため、施設名称など必要に応じて簡略化します。
- ・正式名称よりも地域に定着している名称（愛称、通称等）がある場合は、その名称を使用できるものとします。

《外国語表記》

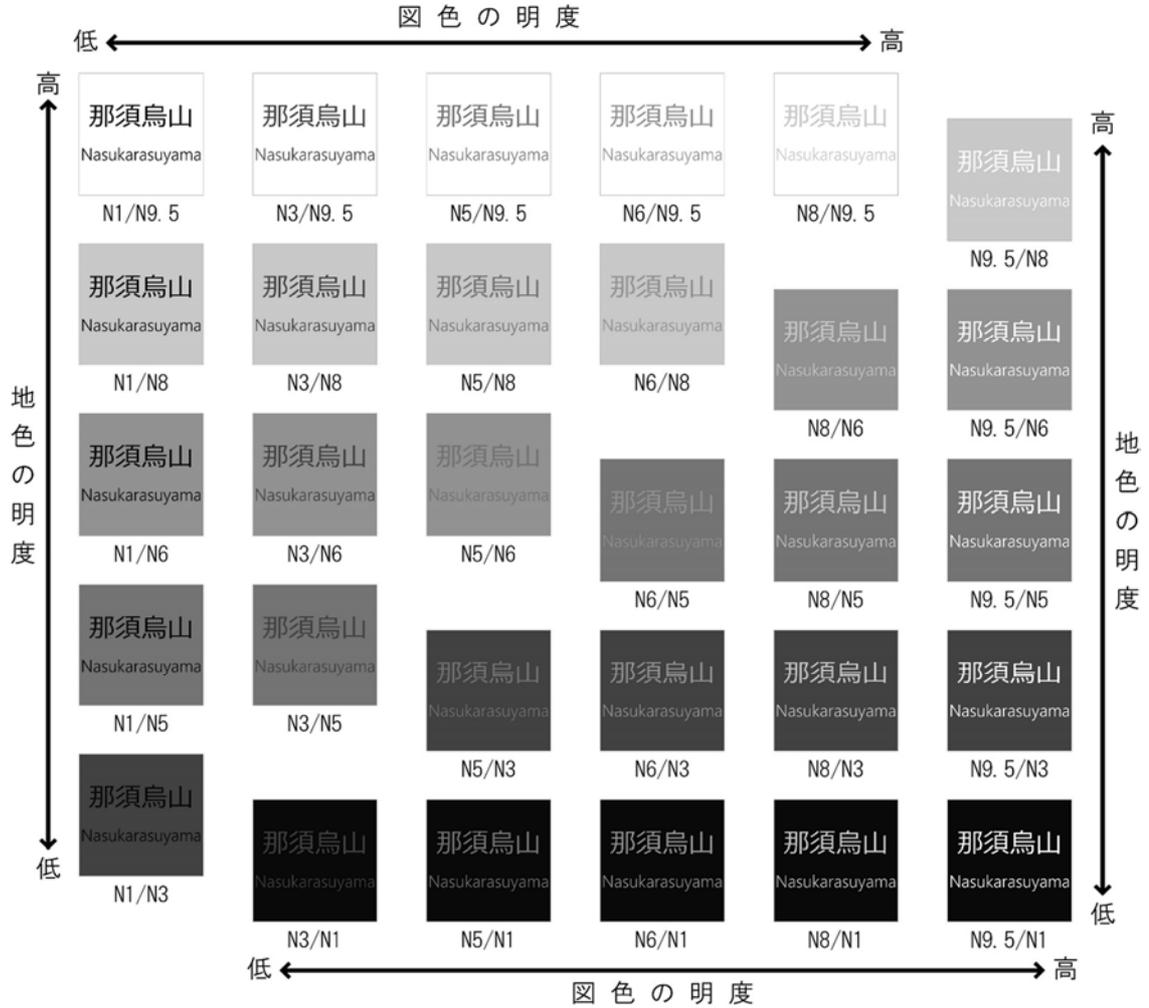
- ・「その他の外国語」については、まずは必要となる言語毎の「観光マップ」、「パンフレット」を作成するなどの対応が望まれます。
- ・固有名詞のみによる「英語」表記には、ローマ字つづりの前後に～ Bridge や Mt. ～、～ Riv.など、外国人に対して意味が伝わる英語を補足する必要があります。
- ・「英語」と「日本語」の文字数や分量などを考慮したうえで、字間や文字幅などを調整しながら見やすくバランスの良い表示となるよう工夫します。

(7) 色彩

- 「公共サイン」で使用する色は、図や文字の色と地色の「明度（N）」差が明確なものとしします。
- 「公共サイン」の基本は、木材や石材などの自然素材を用いる場合を除き、原則として緑色と白色の組合せとしします。
- 障がい者や高齢者で視力が低下した方に配慮し、見分けにくい色の組合せは用いないこととしします。

説明事項

【図色の明度／地色の明度 組み合わせ例】



【見分けにくい色の組み合わせ例】

文字の色（図色）と背景の色（地色）に明暗の差（コントラスト）がないため、色を見分けることができない人がいる可能性があります。文字が読みにくいまたは文字が書かれていることに気がつかないといった問題が起きます。



【見分けやすい色の組み合わせ例】

背景の色と文字の色には、はっきりとした明暗の差（コントラスト）をつけます。暗い色の背景には明るい色を文字に使用し、明るい色の背景には暗い色を文字に使用し組み合わせます。



留意・検討項目

- ・「総合案内サイン」等の地図に用いる色は、色数を抑えながら文字色（黒）を見にくくしない色、退色しにくい色とします。
- ・さらに、「地図」内の色彩は、水面は青系にするなど地勢や土地利用状況などを考慮して違和感のない色彩を使用します。
- ・観光施設や経路に関わる表示は見やすく容易に識別できるものとします。

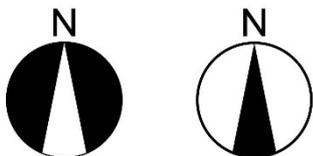
(8) 凡例・その他

- 凡例部には、主地図及び広域地図に掲示したピクトグラムを示す意味（施設名等）を表示します。
- 広域地図には、当該観光地と隣接観光地との位置関係や方向が把握しやすい見取り図を表示します。
- 案内サインの正確性や利便の向上のため方位及びスケール（縮尺）を表示します。

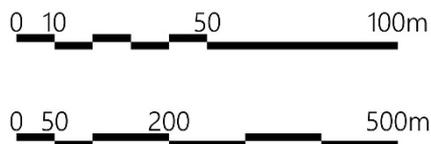
留意・検討項目

- ・「主地図」の方位及び現在地の表示に関しては、設置する位置等に応じて利用者が方向を把握しやすくなるよう工夫します。
例えば、方位及び現在地の表示に関しては、地図標識の向きを「地理学式（北＝上）」にこだわらず「現場合わせ式」とし、利用者が方向を把握しやすくなるよう設置位置に応じて適宜配置します。
- ・「広域地図」の方位の表示に関しては、地図標識の向きを「地理学式（北＝上）」とします。また、「広域地図」は、隣接観光地との位置関係や方向、距離感が分かるような広域的な見取り図とし、隣接観光地への移動距離や移動手段なども併せて表示することにより、広域観光化や周遊化・滞在化などを促進します。
- ・「那須烏山市」の認知度を向上させるとともに、市が設置したことがわかるように、煩雑にならない範囲内で、「市章」や「Nasukarasuyama City./那須烏山市」等を明記します。

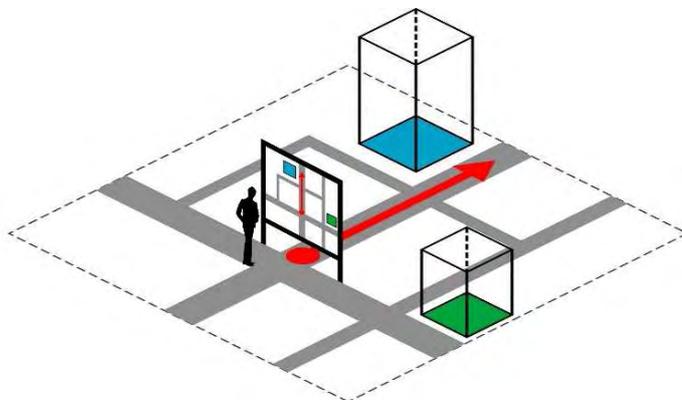
【方位の表記例】



【スケール（縮尺）の表記例】



【主地図表示のイメージ】



4. 公共サインの整備及び維持管理の効率化

公共サイン整備は、設置目的に応じて設置者が異なるため、形状又は表示面の統一性など、情報の一貫性が得られないまま整備されることがありました。

今後の公共サイン整備にあたっては、適切なプロセスによる整備及び計画段階から関係者による調整を行うことが必要になります。

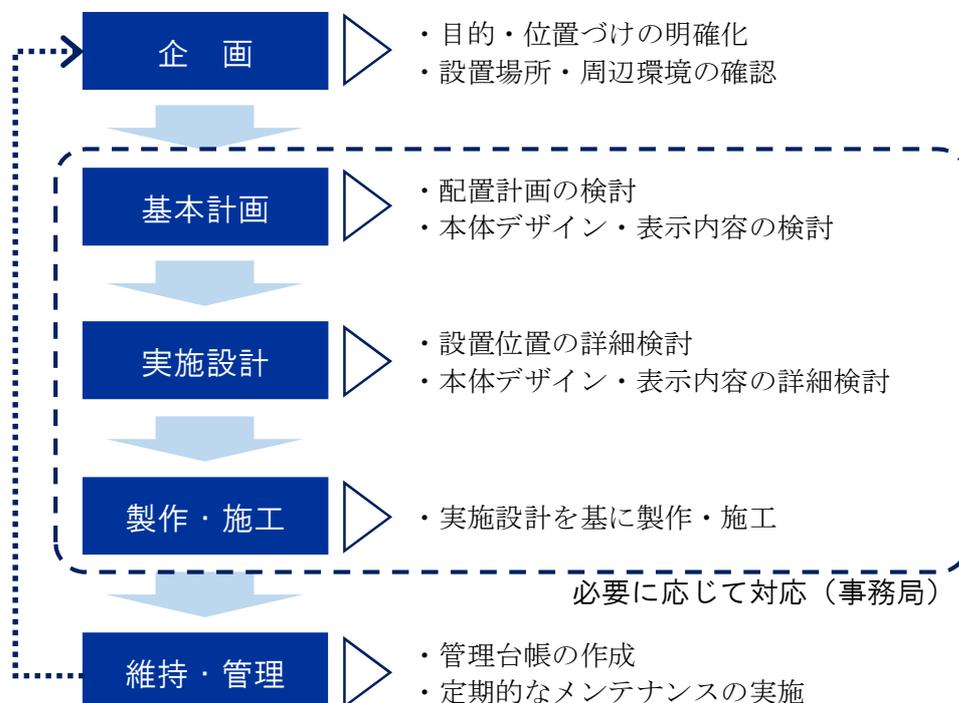
また設置後においては、「情報の老朽化」、「表示性・視認性の低下」や「外観の劣化」などが避けられないため、日常的なメンテナンスが重要であり、設置状況等のデータベース化など必要になります。

以上を踏まえて、公共サインの整備及び維持管理の仕組みを確立します。

(1) 公共サイン整備の流れ

- ・サイン整備の流れについては、下記のフロー図に沿って企画を立案し、整備の基本方針、「標識の高さ・サイズ」や「文字の書体・大きさ」などの具体的事項を参考に計画及び設計を行い、設置後のサインの維持及び管理をします。
- ・事業主体（所管課）が中心となって整備を進めますが、各段階において事務局及び関係機関との調整を行います。

【公共サイン整備の流れ】



(2) デザイン面での工夫

- ・公共サインのベースに自然素材を用いる場合は、金属板を被せることで、情報更新時には金属板のみを取り替えることだけで済みます。
- ・誘導案内板の場合、情報面を短冊形（分割パネル）とすることで、部分的な情報更新にも対応できます。

(3) 公共サインのデータベース化

- ・公共サインのデータベース化により、設置位置や時期などの情報により、「定期メンテナンス」や「情報の更新」などを適正かつ効率的に行います。
- ・公共サインを適切に維持管理するため、「那須烏山市公共サイン管理台帳」を作成し、新たに設置する場合は、該当事項を記載し、データベース化を図ります。

(4) 地域住民との協働

- ・地域住民が主体となった組織や地域住民等との協働により、公共サインのメンテナンスや老朽箇所の連絡など、効率的な維持管理を行います。

3 公共サイン整備計画

【那須烏山市公共サイン管理台帳（案）】

那須烏山市公共サイン管理台帳(案)

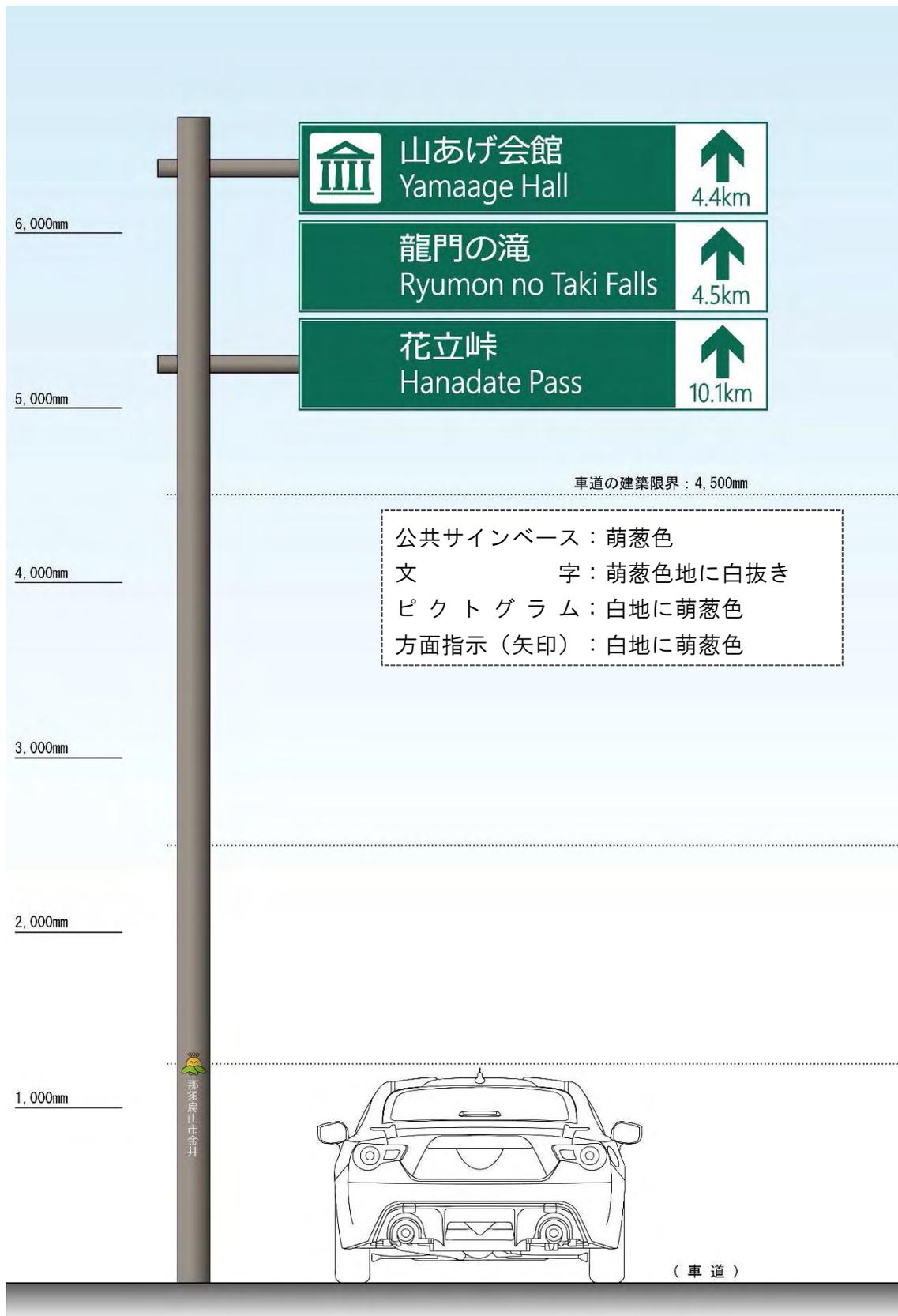
入力日付		管理番号	
------	--	------	--

管理情報	対象施設				
	所管課		担当者		
	設置場所 (路線名)	那須烏山市 ()		設置年月日	
				更新・廃止	<input type="checkbox"/> 更新 <input type="checkbox"/> 廃止
	設置区分(占用許可等)				
	占用許可	許可者	許可期限	借地	
<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
仕様	サインの種類	車両系	<input type="checkbox"/> 誘導サイン <input type="checkbox"/> 記名サイン <input type="checkbox"/> その他		
		歩行者系	<input type="checkbox"/> 総合案内サイン <input type="checkbox"/> 地域案内サイン <input type="checkbox"/> 誘導サイン <input type="checkbox"/> 記名サイン <input type="checkbox"/> その他		
	本体寸法		表示面寸法	材質等	
	高さ	高さ	表示板		
	横幅	横幅	支柱		
奥行	面積	その他			
施工業者	会社名				
	住所				
	連絡先				
位置図			(備考)		
現況写真	(全景)		(表示面)		

5. 標準デザインの提案

(1) 車両系公共サイン

① 誘導案内サイン



②施設誘導サイン

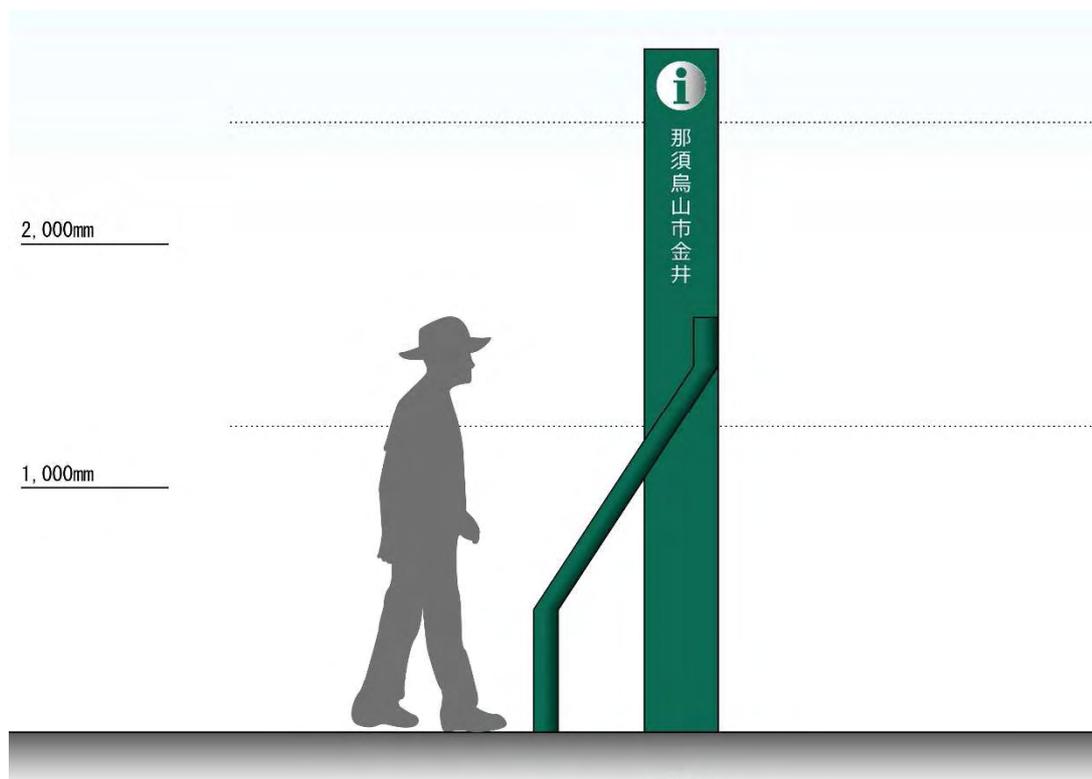


(2) 歩行者系公共サイン

① 総合案内サイン



正面



側面

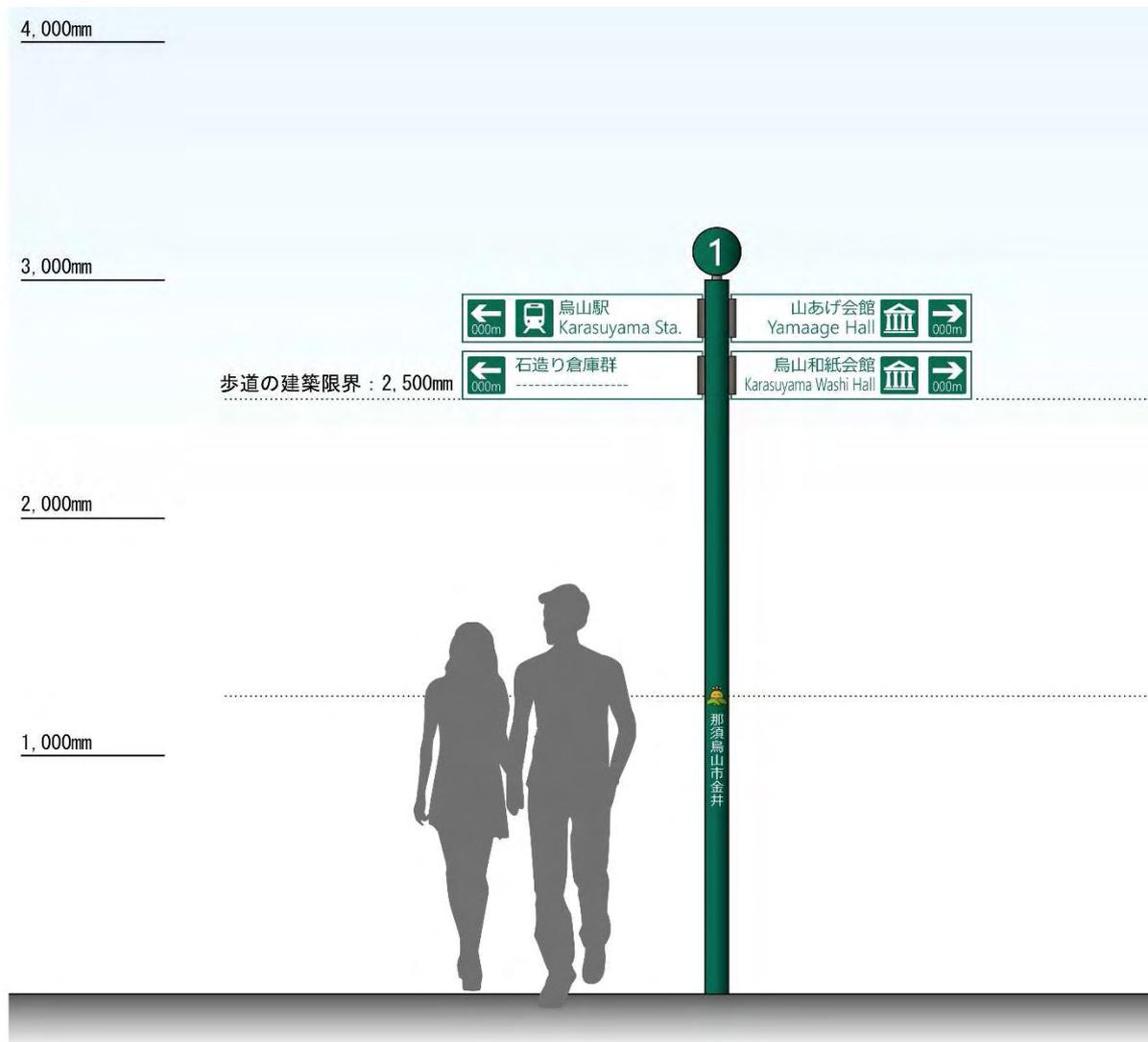
公共サインベース：萌葱色
 文 字：萌葱色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に萌葱色

②案内サイン



公共サインベース：萌葱色
文 字：萌葱色地に白抜き
ピクトグラム：白地に萌葱色

③誘導サイン



公共サインベース：萌葱色
 文 字：白地に萌葱色
 ピクトグラム：萌葱色地に白抜き
 方面指示（矢印）：萌葱色地に白抜き

④その他の誘導サイン（電柱・街路灯活用）



公共サインベース：萌葱色
 文 字：白地に萌葱色
 方面指示（矢印）：白地に萌葱色
 位 置 番 号：萌葱色地に白抜き
 施 設 番 号※：各観光ルート色地に白抜き

※まちなか観光マップの各観光ルートの施設番号及び色と連動

⑤説明サイン



公共サインベース：萌葱色
文 字：萌葱色地に白抜き

《参考資料》

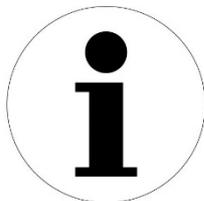
1. 標準案内用図記号
2. カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット
3. 標準デザイン案検討資料

1. 標準案内用図記号

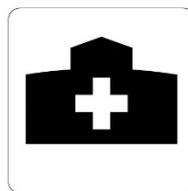
公共
・
一般施設



案内所
Question & answer



情報コーナー
Information



病院
Hospital



救護所
First aid



警察
Police



お手洗
Toilets



男子
Men



女子
Women



障害のある人が使える設備
Accessible facility



スロープ
Slope



飲料水
Drinking water



喫煙所
Smoking area



チェックイン / 受付
Check-in / Reception



忘れ物取扱所
Lost and found



ホテル / 宿泊施設
Hotel / Accommodation



きっぷうりば / 精算所
Tickets / Fare adjustment



手荷物一時預かり所
Baggage storage



コインロッカー
Coin lockers



休憩所 / 待合室
Lounge / Waiting room



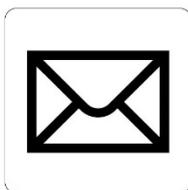
ミーティングポイント
Meeting point



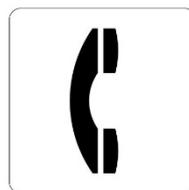
銀行・両替
Bank, money exchange



キャッシュサービス
Cash service



郵便
Post



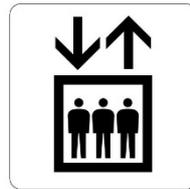
電話
Telephone



ファックス
Fax



カート
Cart



エレベーター
Elevator



エスカレーター
Escalator



階段
Stairs



乳幼児用設備
Nursery



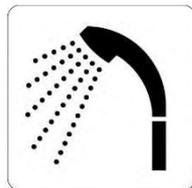
クローク
Cloakroom



更衣室
Dressing room



更衣室（女子）
Dressing room (women)



シャワー
Shower



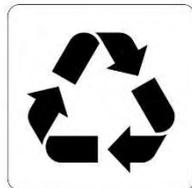
浴室
Bath



水飲み場
Water fountain



くず入れ
Trash box



リサイクル品回収施設
Collection facility for
the recycling products



洪水
Flood



堤防
Levee



高齢者優先設備
Priority facilities for
elderly people



障害のある人・けが人優先設備
Priority facilities
for injured people



内部障害のある人優先設備
Priority facilities for people
with internal disabilities, heart
pacer, etc.



乳幼児連れ優先設備
Priority facilities for
people accompanied
with small children



妊産婦優先設備
Priority facilities for
expecting mothers



高齢者優先席
Priority seats for
elderly people

JISの附属書に掲載されている図記号

JISにのみ掲載されている図記号



障害のある人・けが人優先席
Priority seats for injured people



内部障害のある人優先席
Priority seats for people with internal disabilities, heart pacer, etc.



乳幼児連れ優先席
Priority seats for people accompanied with small children



妊産婦優先席
Priority seats for expecting mothers



ベビーカー
Prams/expecting mothers

--- JISの附属書に掲載されている図記号

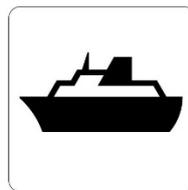
--- JISにのみ掲載されている図記号



航空機 / 空港
Aircraft / Airport



鉄道 / 鉄道駅
Railway / Railway station



船舶 / フェリー / 港
Ship / Ferry / Port



ヘリコプター / ヘリポート
Helicopter / Heliport



バス / バスのりば
Bus / Bus stop



タクシー / タクシーのりば
Taxi / Taxi stop



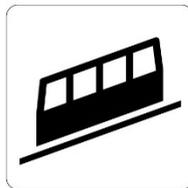
レンタカー
Rent a car



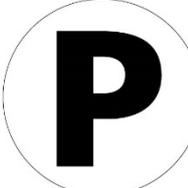
自転車
Bicycle



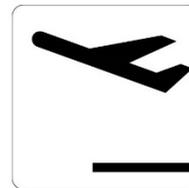
ロープウェイ
Cable car



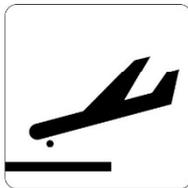
ケーブル鉄道
Cable railway



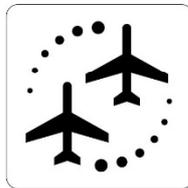
駐車場
Parking



出発
Departures



到着
Arrivals



乗り継ぎ
Connecting flights



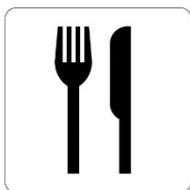
手荷物受取所
Baggage claim



税関 / 荷物検査
Customs / Baggage check



出国手続 / 入国手続 / 検疫 / 書類審査
Immigration / Quarantine / Inspection



レストラン
Restaurant



喫茶・軽食
Coffee shop



バー
Bar



ガソリンスタンド
Gasoline station



会計
Cashier



店舗 / 売店
Shop



新聞・雑誌
Newspapers, magazines



薬局
Pharmacy



理容 / 美容
Barber / Beauty salon



手荷物託配
Baggage delivery service

〔 〕 JISの附属書に掲載されている図記号

〔 〕 JISにのみ掲載されている図記号



展望地 / 景勝地
View point



陸上競技場
Athletic stadium



サッカー競技場
Football stadium



野球場
Baseball stadium



テニスコート
Tennis court



海水浴場 / プール
Swimming place



スキー場
Ski ground



キャンプ場
Camp site



温泉
Hot spring



コミュニケーション
Communication in the
specified language



靴を脱いでください
Take off your shoes



公園
Park



博物館 / 美術館
Museum



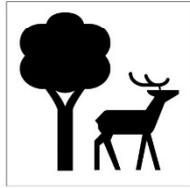
歴史的建造物
Historical monument



応用例 1
variant 1



応用例 2
variant 2



自然保護
Nature reserve



スポーツ活動
Sporting activities



スカッシュコート
Squash court



Tバーリフト
T bar lift



腰掛け式リフト
Chairlift

JISの附属書に掲載されている図記号

JISにのみ掲載されている図記号

〔安全〕



消火器
Fire extinguisher



非常電話
Emergency telephone



非常ボタン
Emergency call button



広域避難場所
Safety evacuation area



避難所(建物)
Evacuation shelter



津波避難場所
Tsunami evacuation area



津波避難ビル
Tsunami evacuation building



非常口
Emergency exit

〔禁止〕



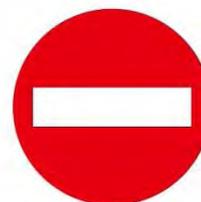
一般禁止
General prohibition



禁煙
No smoking



火気厳禁
No open flame



進入禁止
No entry



駐車禁止
No parking



自転車乗り入れ禁止
No bicycles



立入禁止
No admittance



走るな / かけ込み禁止
Do not rush



さわるな
Do not touch



捨てるな
Do not throw rubbish



飲めない
Not drinking water



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones

--- JISの附属書に掲載されている図記号

--- JISにのみ掲載されている図記号

〔禁止〕



電子機器使用禁止
Do not use electronic devices



撮影禁止
Do not take photographs



フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs



ベビーカー使用禁止
Do not use prams



遊泳禁止
No swimming



キャンプ禁止
No camping



飲食禁止
Do not eat or drink here



ペット持ち込み禁止
No uncaged animals

〔注意〕



一般注意
General caution



障害物注意
Caution, obstacles



上り段差注意
Caution, uneven access / up



下り段差注意
Caution, uneven access / down



滑面注意
Caution, slippery surface



転落注意
Caution, drop



天井に注意
Caution, overhead



感電注意
Caution, electricity



津波注意（津波危険地帯）
Warning, Tsunami hazard zone

JISの附属書に掲載されている図記号

JISにのみ掲載されている図記号

指示



一般指示
General mandatory



静かに
Quiet please



左側にお立ちください
Please stand on the left



応用例 (右側にお立ちください)
variant (Please stand on the right)



二列並び
Line up in twos



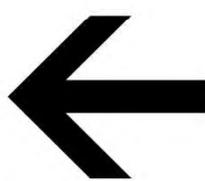
応用例 1 (一列並び)
variant 1 (Line up single file)



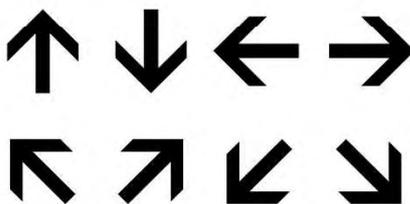
応用例 2 (三列並び)
variant 2 (Line up in threes)



応用例 3 (四列並び)
variant 3 (Line up in fours)



矢印
Directional arrow



応用例
variants



安全バーを閉める
Close safety bar



安全バーを開ける
Open safety bar



スキーの先を上げる
Raise ski tips



スキーヤーは降りる
Skiers have to get off



徒歩客は降りる
Get off

--- JISの附属書に掲載されている図記号

--- JISにのみ掲載されている図記号

2. カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット

(『カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ガイドブック』より抜粋)

概要

遺伝子の特性の違いや、緑内障などの網膜の病気、白内障などのために、一部の色の組合せを区別しにくく不便を感じる人が日本に数百万人います。公共施設の案内表示・工業製品・情報機器・印刷物・報道・教科書などのカラー化が進み、色を活用した情報伝達においてどのような色覚の人にも分かりやすく伝えることへのニーズが高まっています。それぞれの色覚ごとにどのような色が見分けにくいかは視覚神経科学の分野で研究されてきましたが、色をどのように調整すれば区別しやすい配色になるのかに関する研究は、これまでほとんどありませんでした。そこで様々な色覚特性の当事者による検証と調整を重ねて、どのような色覚の人にも比較的に見分けやすい実用的な配色セットを策定しました。塗料・塗装業界と印刷業界、デザイン業界、それぞれの分野で普及を図っています。

特徴

色名を想起しやすいこと

人は、赤・オレンジ・黄・緑・青・紫・ピンク・茶色・ベージュ・クリームなどの「色名」を使ってコミュニケーションします。実用性を考え、色名を表現しにくい微妙な中間色ではなく、色名を表現しやすい色調から選びました。

塗装・印刷・画面で再現可能な色の範囲に収まっていること

人が眼で知覚できる色の中で、塗料や印刷、デジタル機器の画面で表現できる色は範囲が限られています。この範囲を超えた色は、理論的には見分けやすくても実用上意味がありません。本配色セットの色は、それぞれで再現可能な範囲の色から選定しています。

塗装用・印刷用・画面用で共通した色名で呼べること

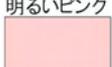
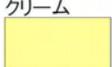
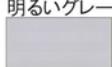
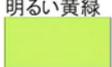
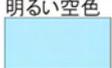
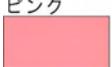
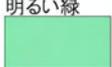
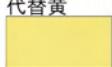
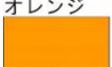
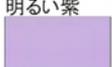
案内やサインは、塗装された現物だけでなく、印刷物や画面でも提供される場合があります。用いられた色が同じような色として感じられ、共通した色名で呼び合うことができます。

実用的で分かりやすい方法で色を指定できること

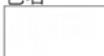
見分けやすい配色を指定する際は、色を扱う現場の人にとって分かりやすく、簡単に色を選択できる方法が必要です。そのため、本配色セットでは塗装分野の色指定で使用されている「J PMA塗料用標準色」、一般的なプロセスカラーの印刷物の色指定に使用されている「CMYK値」、画面やモニターなどの色指定に使用されている「RGB値」の3種類の色彩値を設定しています。

カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ver. 3

「カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット」は、文字やサインなど、比較的小さい面積でも見分けやすい高彩度のアクセントカラー9色、案内図や地図の塗り分けなど広い面積に用いる高明度・低彩度のベースカラー7色と、これらの色と誤認しにくい無彩色4色の合計20色（塗装用のみ代替色2色を含む22色）のカラーパレットです。塗装色・印刷色・画面での表示色において、情報を色分けして伝えるときにご使用ください。

アクセントカラー	サイン・グラフなど小面積を目立たせる高彩度色	ベースカラー	案内図・地図など広い面積の塗り分けに用いる低彩度色	無彩色	
赤	 G08-50V (8.75R 5/12) 0, 75, 95, 0 ※1 255, 40, 0	明るいピンク	 G05-80L (5R 8/6) 0,25,15,0 255,209,209	白	 GN-93 (N9.3) 0,0,0,0 255,255,255
黄色	 G27-85V (7.5Y 8.5/12) 0, 0, 100, 0 250, 245, 0	クリーム	 G25-90H (5Y 9/4) 0,0,40,0 255,255,153	明るいグレー	 G75-80B (5PB 8/1) 15,10,10,0 200,200,203
緑	 G47-60T (7.5G 6/10) 75, 0, 65, 0 53, 161, 107	明るい黄緑	 G32-80P (2.5GY 8/8) 25,0,80,0 203,242,102	グレー	 G75-50D (5PB 5/2) 18,10,0,55 127,135,143
青	 G77-40V (7.5PB 4/12) 100, 45, 0, 0 0, 65, 255	明るい空色	 G69-70P (10B 8/4) 30,0,0,0 180,235,250	黒	 GN-15 (N1.5) 50,50,50,100 ※2 0,0,0
空色	 G69-70P (10B 7/8) 55, 0, 0, 0 102, 204, 255	ベージュ	 G19-75L (10YR 7.5/6) 0,25,45,0 237,197,143	代替色 ※3	
ピンク	 G02-70T (2.5R 7/10) 0, 55, 35, 0 255, 153, 160	明るい緑	 G42-70H (2.5G 7/4) 45,0,45,0 135,231,176	代替黄	 G27-90P (7.5Y 9/8)
オレンジ	 G15-65X (5YR 6.5/14) 0, 45, 100, 0 255, 153, 0	明るい紫	 G82-70H (2.5P 7/4) 25,30,0,0 199,178,222	代替緑	 G45-60L (5G 6/6)
紫	 G89-40T (10P 4/10) 30, 95, 0, 0 154, 0, 121				
茶色	 G09-30L (10R 3/6) 55, 90, 100, 0 102, 51, 0				

凡 例

色名		日塗工 (JPMA) 色票番号	C,M,Y,K 値
		(参考マンセル値)	R,G,B 値

※1 赤の CMYK 値は、印刷条件によってオレンジに偏りすぎる可能性がある場合、C,M,Y,K=0,75,90,0 をご指定ください。
 ※2 黒の CMYK 値は、文字色や細い線等に用いる場合、印刷時のズレを考慮して C,M,Y,K=0,0,0,100 をご指定ください。
 ※3 塗装用のみ、アクセントカラーが鮮やかすぎるとした場合の代替色として、やや彩度を落とした代替黄と代替緑を用意しました。

3. 標準デザイン案検討資料

■ 公共サイン配色例（緑系） ■

萌葱色	
	
深緑	
	
苔色	
	

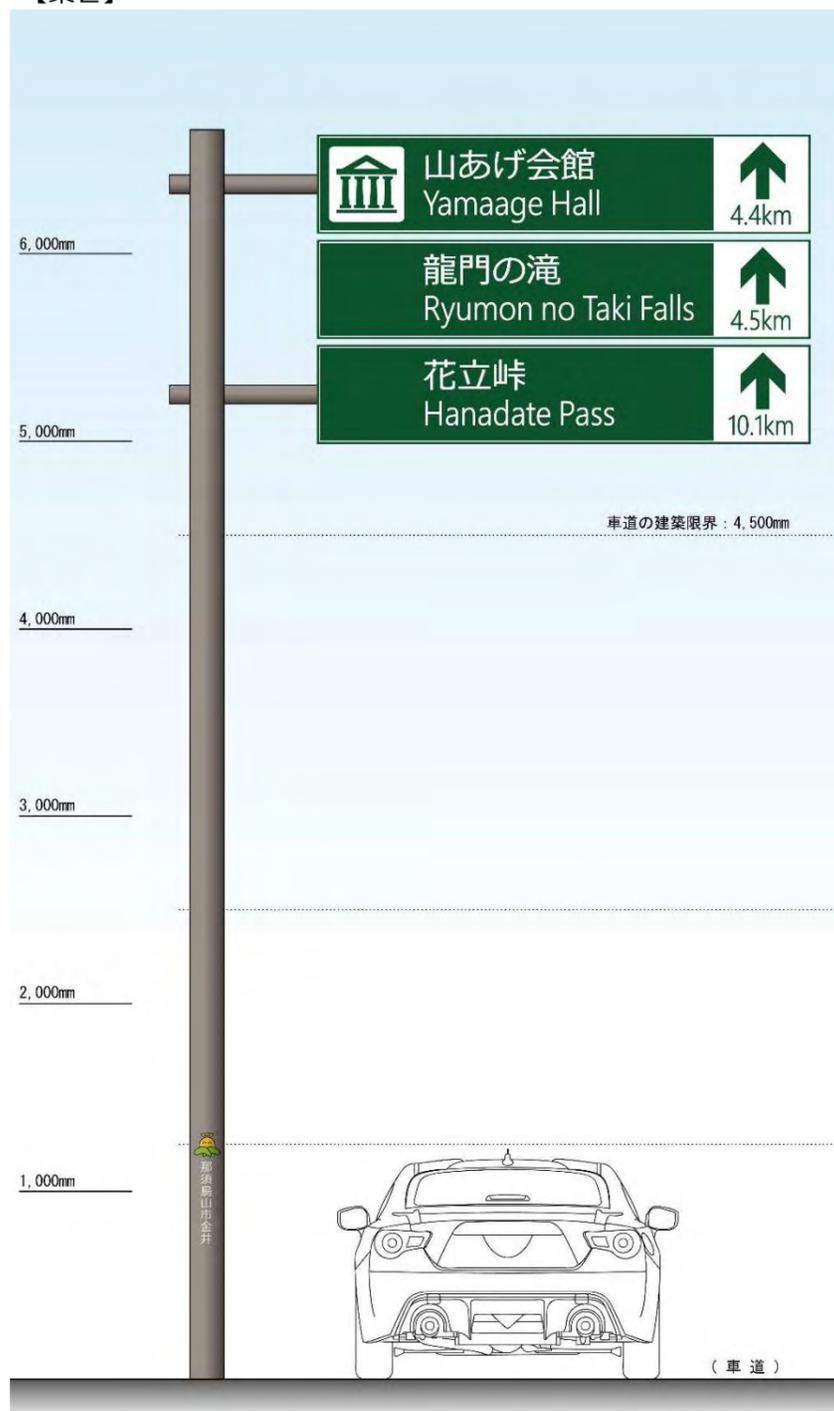
(1) 車両系公共サイン：誘導案内サイン

【案1】



公共サインベース：萌葱色
 文 字：萌葱色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に萌葱色
 方面指示（矢印）：白地に萌葱色

【案2】



公共サインベース：深緑
 文 字：深緑地に白抜き
 ピクトグラム：白地に深緑
 方面指示（矢印）：白地に深緑

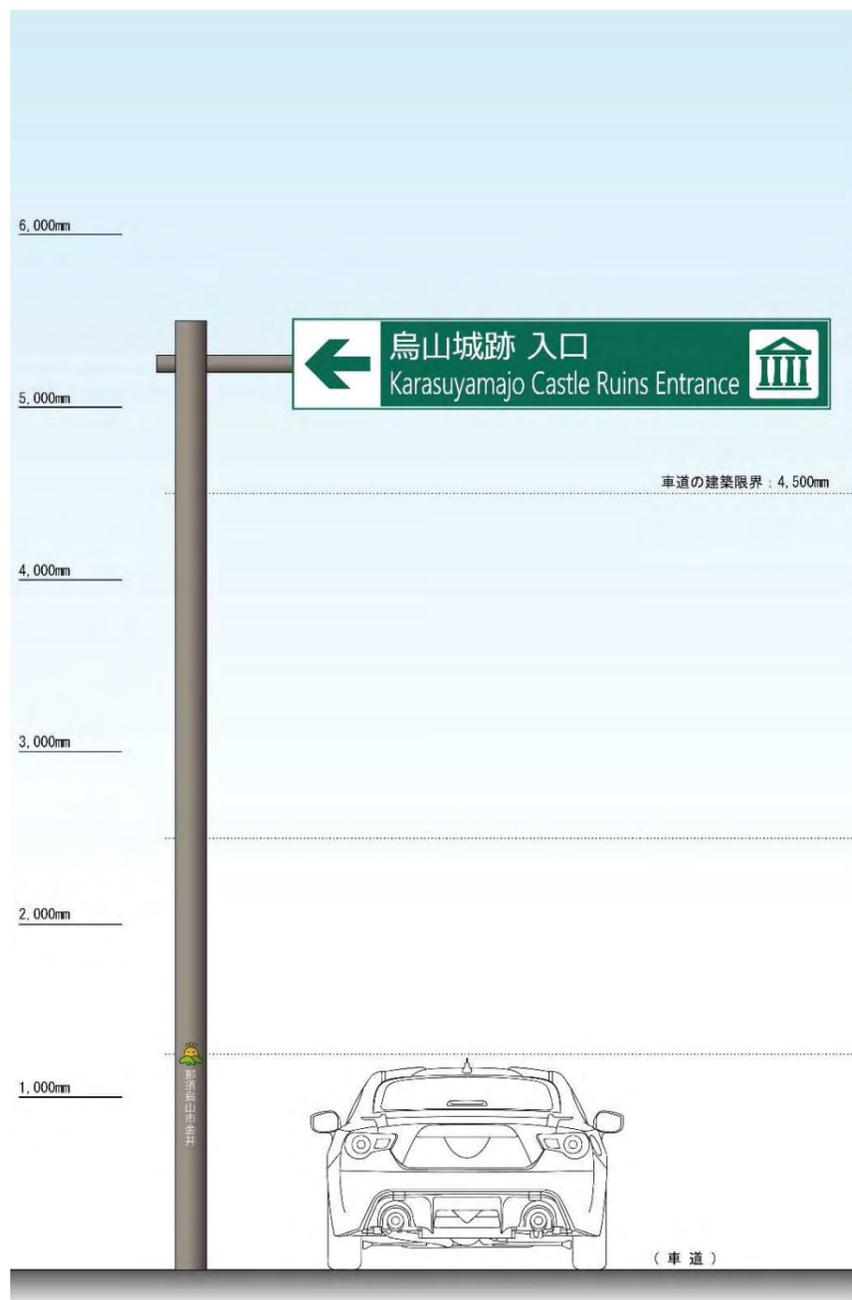
【案3】



公共サインベース：苔色
 文 字：苔色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に苔色
 方面指示（矢印）：白地に苔色

(2) 車両系公共サイン：施設誘導サイン

【案1】



公共サインベース：萌葱色
 文 字：萌葱色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に萌葱色
 方面指示（矢印）：白地に萌葱色

【案2】



公共サインベース：深緑
 文 字：深緑地に白抜き
 ピクトグラム：白地に深緑
 方面指示（矢印）：白地に深緑

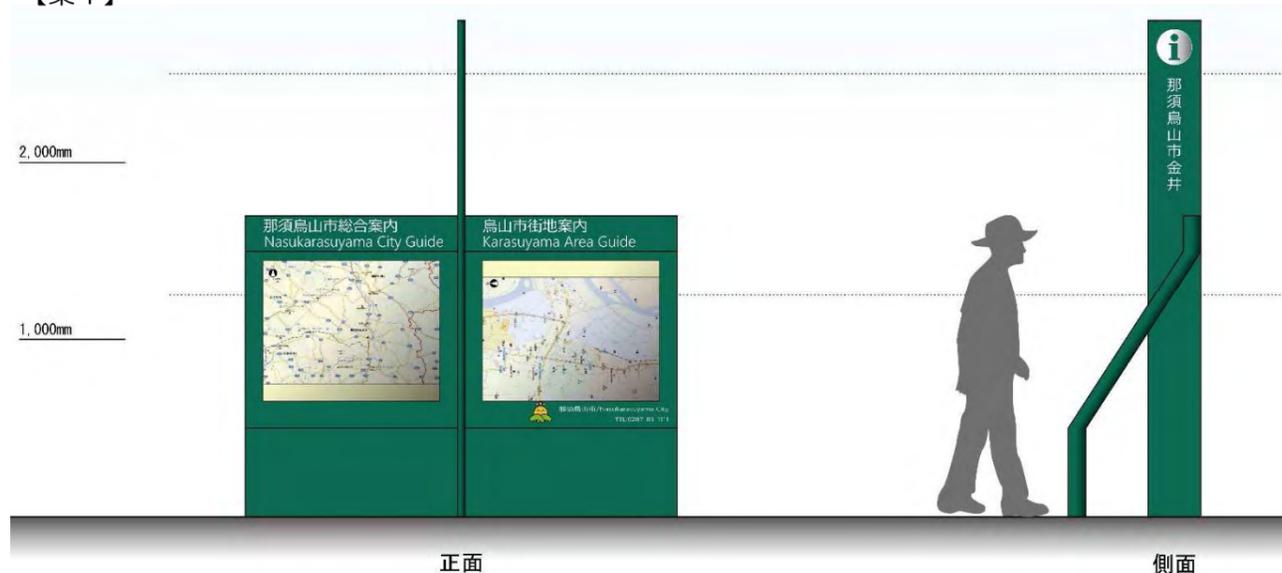
【案3】



公共サインベース：苔色
 文 字：苔色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に苔色
 方面指示（矢印）：白地に苔色

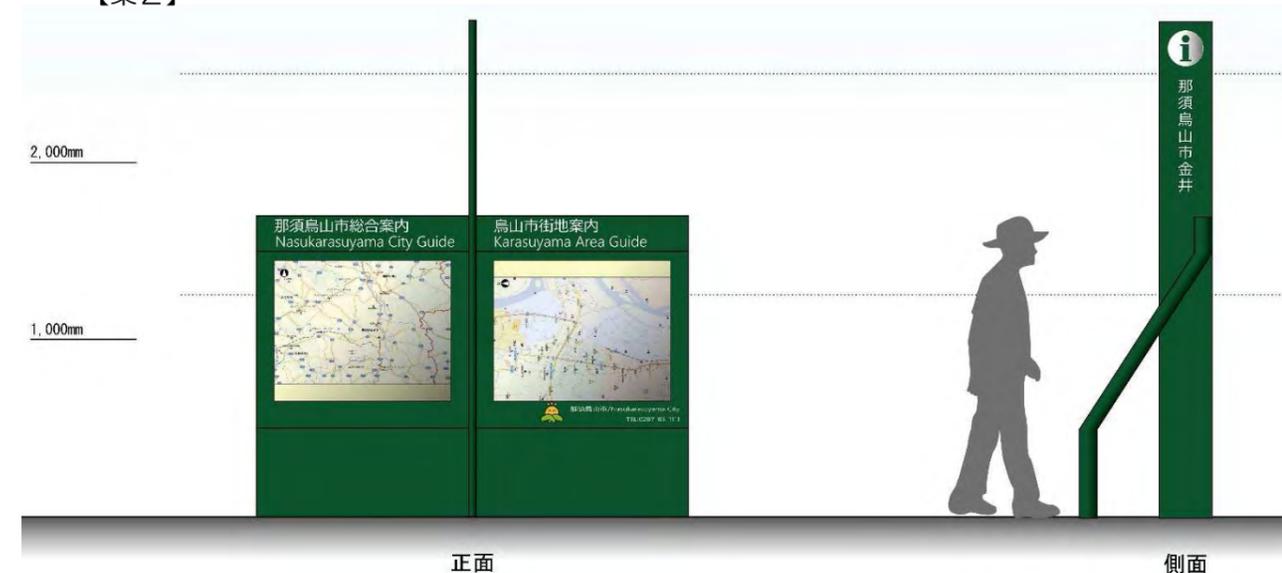
(3) 歩行者系公共サイン：総合案内サイン

【案1】



公共サインベース：萌葱色
 文 字：萌葱色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に萌葱色

【案2】



公共サインベース：深緑
 文 字：深緑地に白抜き
 ピクトグラム：白地に深緑

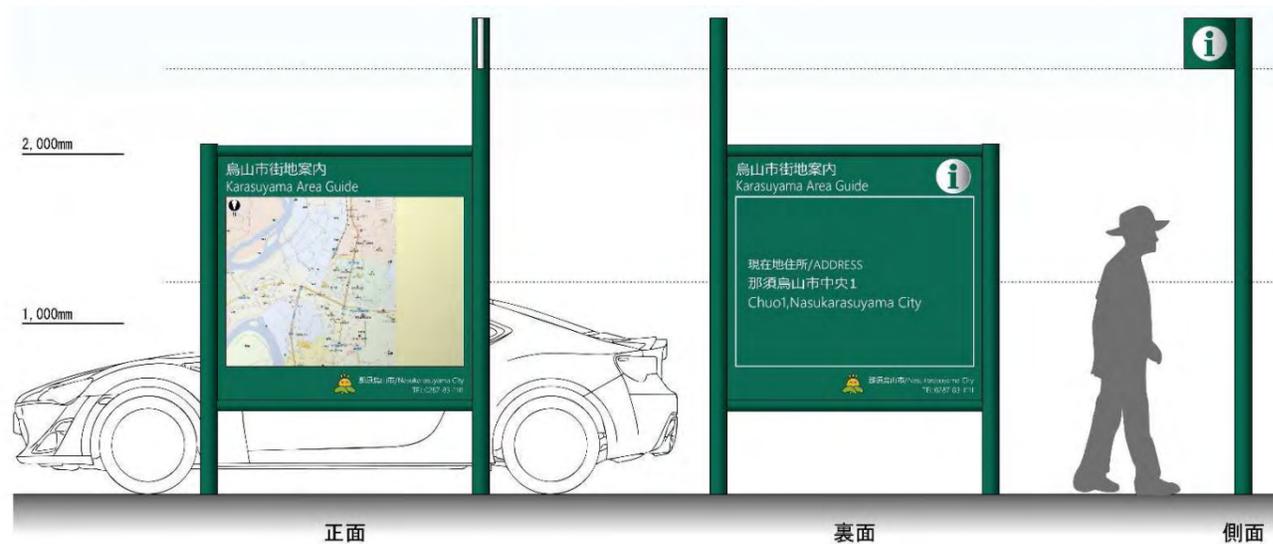
【案3】



公共サインベース：苔色
 文 字：苔色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に苔色

(4) 歩行者系公共サイン：案内サイン

【案1】



公共サインベース：萌葱色
 文 字：萌葱色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に萌葱色

【案2】



公共サインベース：深緑
 文 字：深緑地に白抜き
 ピクトグラム：白地に深緑

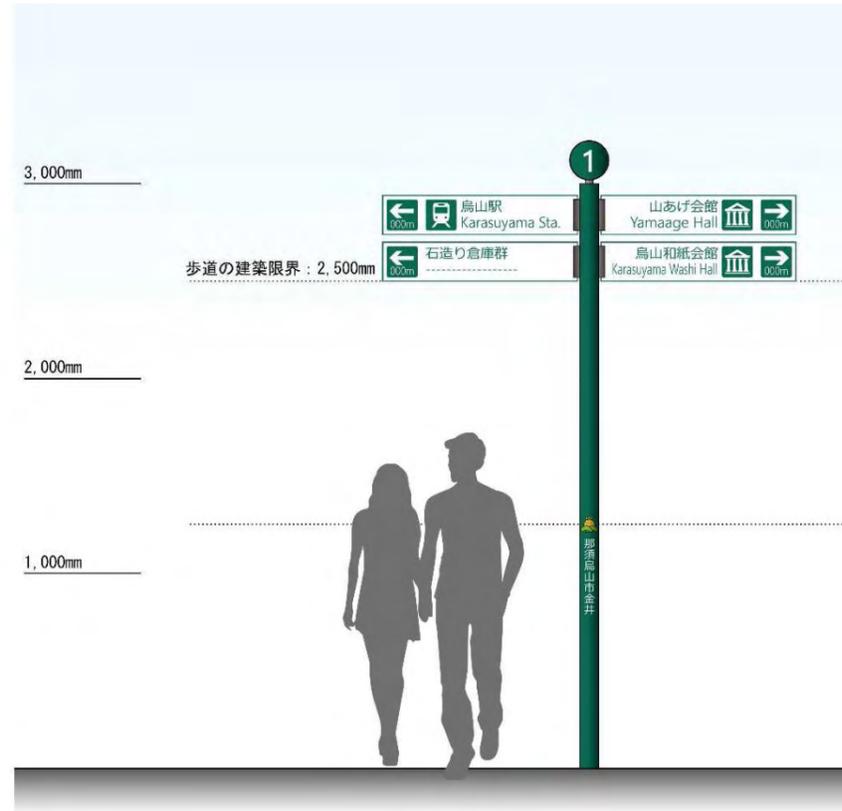
【案3】



公共サインベース：苔色
 文 字：苔色地に白抜き
 ピクトグラム：白地に苔色

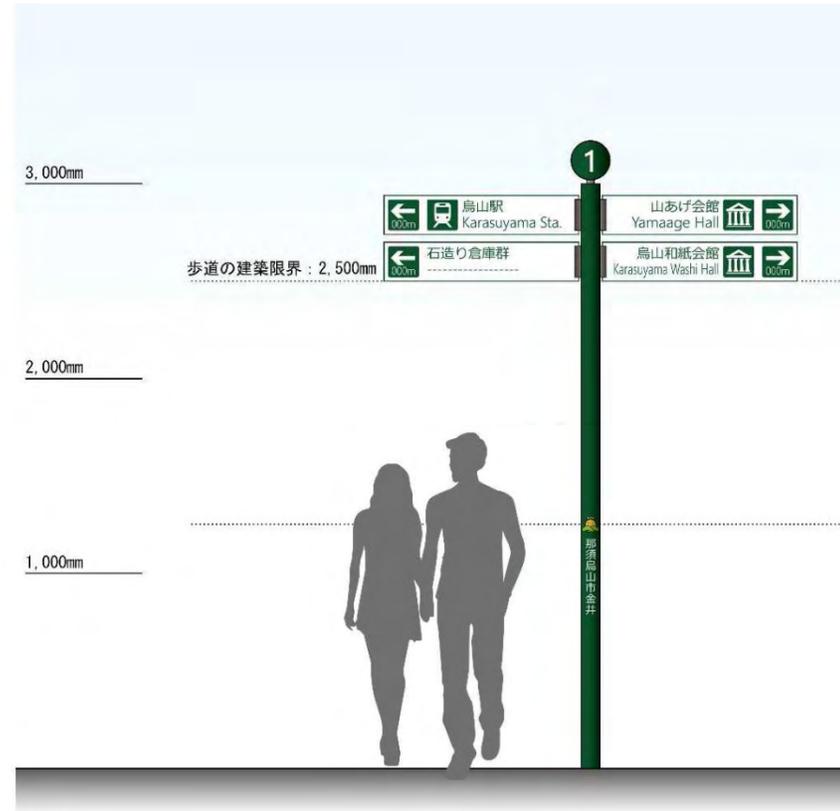
(5) 歩行者系公共サイン：誘導サイン（矢羽式）

【案1】



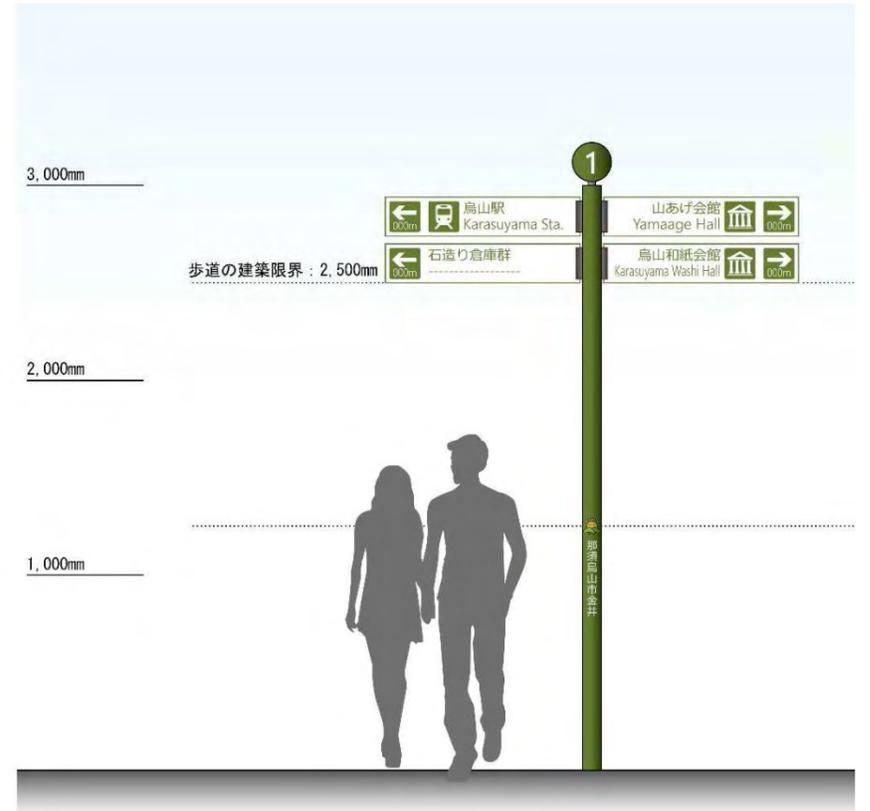
公共サインベース：萌葱色
 文 字：白地に萌葱色
 ピクトグラム：萌葱色地に白抜き

【案2】



公共サインベース：深緑
 文 字：白地に深緑
 ピクトグラム：深緑地に白抜き

【案3】



公共サインベース：苔色
 文 字：白地に苔色
 ピクトグラム：苔色地に白抜き

(6) 歩行者系公共サイン：その他の誘導サイン（電柱等活用）

【案1】



公共サインベース：萌葱色
 文 字：白地に萌葱色
 方面指示（矢印）：白地に萌葱色
 位置番号：萌葱色地に白抜き
 施設番号※：各観光ルート色地に白抜き

【案2】



公共サインベース：深緑
 文 字：白地に深緑
 方面指示（矢印）：白地に深緑
 位置番号：深緑地に白抜き
 施設番号※：各観光ルート色地に白抜き

【案3】



公共サインベース：苔色
 文 字：白地に苔色
 方面指示（矢印）：白地に苔色
 位置番号：苔色地に白抜き
 施設番号※：各観光ルート色地に白抜き

※まちなか観光マップの各観光ルートの施設番号及び色と連動

(7) 歩行者系公共サイン：説明サイン

【案1】



公共サインベース：萌葱色
文 字：萌葱色地に白抜き

【案2】



公共サインベース：深緑
文 字：深緑地に白抜き

【案3】



公共サインベース：苔色
文 字：苔色地に白抜き